



## 第 27 回交流会「リモートでカレンダー作り」

開催日：2021年10月24日（日）14:00～15:30

会場：新型コロナウイルス感染の拡大により、リモート開催

参加者：7名

絶好の行楽日和、洗濯日和！

初めてのオンライン交流会。リモートでも季節感が欲しいよねと、森へ繰り出して今日の小網代を撮影してきました。予定した日は雨でしたが、めげずに雨の森を撮影。予備日に再び出かけて撮影するなど、スタッフ一同張り切っているのですが、インドア開催にはあいにく？の好天気、さてどうなりますことか。14:00 ジャスト、司会の K さんから動画の紹介があり、「リモートで小網代散歩」スタートです。

### リモートで小網代散歩

#### 動画①は小網代の森くらぶのご紹介

今年2月の「のたろんフェア（いつもお世話になっている横須賀市立 市民活動サポートセンターの市民活動フェア）」で発表したものですが、こあじろの森くらぶの概要と2020年の活動を紹介する動画です。小網代の森の風景や交流会の様子に、心地好い M さんのナレーションを乗せて3分ほどにまとめています。

#### 動画②は「秋雨の小網代」（2021年10月13日撮影）

BGM が大好評。そして今日は M さんが動画撮影デビュー！です。

「雨の森も好いわね！」「たまにはね」「雨の森大好き」、動画を見ながらのおしゃべりもはずみです。ハマカンゾウみたいな派手な花はほとんど終わっていますが、今日の小網代の生きものたちは、カントウヨメナ、ミゾソバ、シロバナサクラタデ、ボントクタデ、ヒヨドリバナ、ムラサキシキブ（実）、クサギ（実）、センニンソウ（実）、アマチャヅル（実）。可愛らしい植物たちが迎えてくれました。

秋には秋の、雨の日には雨ならではの美しさを見せてくれるのが、我が小網代の森なのです。

#### 動画③は「秋の小網代」（2021年10月21日撮影）

良いお天気なので、今日は虫の姿も見られそう。

今日の植物たちは、ゲンショウコ、ノコンギク、ツリガネニンジン、オオハナワラビ、コウヤボウキ（蕾）、イヌガラシ、ヒヨドリバナ。ススキもオギも花盛り。

色とりどりの実は、ムラサキシキブ、ハダカホウズキ、ビナンカズラ、ノブドウ、カマツカ、クリのイガ、ヒヨドリバナの実もありました。センニンソウの実は髭が伸びてきて、もうじき立派な仙人になるでしょう。ヌスビトハギ、オナモ



ミ、メナモミは引っ付き虫、いつの間にか連れて帰ってしまいます。花の時季には青々としていたタコノアシもすっかり茶色く、見慣れた姿になりました。

虫愛ずる姫君たちが見つけた虫はというと、カメムシの仲間、アオマツムシ、ジョロウグモ、名も知らないクモ、シャクトリムシ(何だろ?)、ヒメアリ。シリアゲムシのおしりは、何か思うところがあって上げているのか、いつも上がっているのか。

「威嚇じゃないよね」

「好きで上げている訳ではなくて、勝手に上がっているのでは？」

「私だって、好きでこの体なわけじゃない」喧喧囂囂…大爆笑！



交流会の楽しさが今ひとつ伝わりきれないのが、リモートの弱点でしょうか？

## オリジナルカレンダーの画像選び

さて、映像はエノキテラスにたどり着き、すっかり森歩き気分。うっかりお弁当を開きそうです。

お弁当を食べてる場合じゃありません。本日のメインイベント、カレンダー用の写真を選んで、キャプションをつけていきます。

まずは過去数年分のカレンダーを参照して、イメージを共有します。跡形もなくつぶされてしまった旧石器時代の遺跡とか、思い出話も尽きません。2020年からキャプションを付けるようになりました、これも楽しい作業です。

そして2022年用の候補写真が画面一杯に表示されました。



1枚1枚の写真について議論・検討します。

1・2月の候補は鳥が有力、エナガやカワラヒワが可愛い。

3・4月は森に入れなかったのも、かつて皇室のご料地だったことを示す、「境界石」、今となっては、小さな遺跡ですね。

5・6月は候補が多い。すぐ脱線する私たち、関係あるやら、ないやら良くは分からないのですが、今を盛りと咲き誇る花の美しさからアカテガニとベンケイガニの見分け

方まで議論百出！ 小網代の大スター・カニに対抗するのは、沢山の花房を見事に垂らしたフジの花。

\* 交流会で上映した動画は、近日中にホームページの会員専用ページに公開する予定です。  
(会員限定の公開です)

フジの木は他の木に巻きついて育つ絞め殺しの木なので、どんどん伐られていて、小網代の森には残り少なくなっています。

7・8月の候補はやっぱりカニかな、それとも絶滅危惧種のタコノアシ。青々とした花の時季のタコノアシの写真は珍しいので捨てがたい。しかし、アカテガニの写真が堂々として、実に良く撮れている。困った…。

9・10月はシロバナサクラタデの写真が美し過ぎて、有力候補！小さなアリがくっついていますが、でも、アリの種名はさっさと諦めて、写っている花のオス・メス論争に花が咲く私たち全員。

11・12月はエノキの実の団子三兄弟。「何の変形菌？」そんな声が自然に上がるほど、不思議で楽しい写真です。

あれやこれやと騒いだ末に、選ばれた写真とキャプションを次にご紹介します。

## ●●● こあじろの森くらぶオリジナルカレンダー2022 デザイン発表！ ●●●



ひとりブランコ エナガの子

撮影：別府史朗



御用邸予定地の境界石

監修：松原あかね 撮影：浪本晴美

『小網代の歴史を訪ねてみよう』より



フジのシャンデリア (真ん中湿地)

撮影：宮本美織

January 1月

2月 February

March 3月

4月 April

May 5月

6月 June



絶滅の危機 タコノアシ、これにあり！

撮影：浪本晴美 宮本美織



何の花でしょう？

撮影：宮本美織

ふふふふふふふふふふふふ



エノキ三兄弟 森の大海 漕いで行く

監修：宮本美織 撮影：浪本晴美

July 7月

8月 August

September 9月

10月 October

November 11月

12月 December



### こあじろの森くらぶオリジナルカレンダー2022

2020年～2021年に撮影した、季節感あふれる小網代の森の写真を楽しむ卓上サイズのカレンダーです。

ハガキサイズ×6枚組

価格：500円（送料込）

お申込み・お問合せ：info@mori-club.com（高橋）

046-889-0067（仲澤）

●●● 会員の皆様からコメントをいただきました ●●●

途中からの参加ですみませんでした。お誘いを受けてメモには書いてあって、昨日あたりは覚えてはいたんですけど、朝はもう忘れてたんですよ。今日は朝からいろいろ働いて疲れたなど一息つこうとしたら、ああそうだと思い出したので、今朝とか、昨日の夕方とかに「交流会あります」とメールが来ると、ちょっといいかもしれないかなと思いました。途中からの参加なので、そこからの感想をお伝えします。現場で一緒に歩いていると横にいる人としかしゃべれないけれど、この zoom は全員に伝わるというのが面白いのかなと思いました。実体がないといえないけれど、全然知らない場所じゃなくて、写真を見て話すと、何か思い出すというか、場所の雰囲気が、逆によく目に入るような気分です。さっきのサクラタデの花は、もし現場であったら手に取って試みることができるのに、それができないという限界はあるけれど、この皆さんに共有できる、全員で共有できる、という良さはあるのかなと思いました。

H.A

参加者がいらっしゃるか心配していて、私も3人くらいにお声かけして一人くらいはと思ったんですけど、ゼロでした。映像をみんなでわいわい言いながら見る、スポーツバーみたいな風にもすると、また、ちょっと違うのかなと思いました。リモートははじめての試みなので、しょうがないなとも思うし、そのためにカレンダーがちゃんと出来てよかったと思います。今日は晴れてしまったから、森を歩けずちょっと残念でしたけれど、でも、これから先コロナがまたいつ来るかわからないので、予行練習的な形で出来たのがよかったかなと思います。

M.M

カレンダーの写真をみんなで選べて、ほっとしました。

H.N

動画、楽しかったです。カレンダー選びも本当に交流会という雰囲気で、リモートいいよねと思いました。

M.H

本当にいいのが選べましたね。どんどんいろいろなことが、知識として付け足されて行くというのが素晴らしいと思いました。今回、Mさんは技術もですけど、すごいわ。

K.S

(すごいのはカメラです。 M.M)

机の前にいられるから、慣れている誰かが図書を開いたりということもできるのですよね。森だとなかなか出来ないですものね。

今回、リモート交流会を組み立てるに当たって、2回下見に入って、動画や静止画を撮影をしました。私は全然駄目で、NさんやMさんがとても頑張ってくれて、特にMさんが動画写真デビューをされて、嬉しいです。私もそういう風になりたいし、Nさんみたいに、動画と静止画をちょうどよく編集して、バックにフリーの音楽を入れてという、ああいう映像の編集を学びたいと思いました。会員さんの参加は一人しかなくてちょっと寂しかったけど、でも、来てくれてありがとうございます。いろいろ教えてもらえて嬉しかったです。

A.M

当日晴れ渡り、何処かに遠出したくなるような日でした。  
リモートで、小網代の森を画面で、観られて、もっと見たくくなりました。  
カレンダーの写真も皆で選べて良かった！  
会員の方も参加してもらったのでホッとしました。  
会議の時間設定は、難しいなとも思いました。

Y.M

## サロン小網代 四国 88ヶ所遍路巡礼

2021.11.2 祖父川精治

秩父33観音霊場「埼玉」、坂東33観音霊場「関東」、西国33観音霊場「近畿、福井、岐阜」を巡り終え、次に目指すのは四国88ヶ所のお遍路である。全行程徒歩で巡ると約1400キロ、2-3ヶ月は要するという。若い時と違い全く自信がないので、四国各1県ごとに巡る旅行会社の遍路巡礼ツアーを利用することにした。いわゆる1国巡りである。

徳島、高知、松山の各空港は海に近く、高松は丘陵上にあった。

平均して各県の霊場は22ヶ所、4泊5日の日程で、最後の香川県讃岐では88番大窪寺から1番寺へ戻り、長駆和歌山県の真言宗開祖弘法大師を祀る高野山へバスで向かった。

徳島県阿波1番札所霊山寺で遍路巡霊用の品々を揃えることができる。モデルのマネキン人形があり、どのような品物が必要か見て判る仕組みである。私達は、最低でも白の白衣、輪袈裟、経文や納経帳を格納する袋帯等を購入する。菅笠と金剛杖は邪魔になりそうなので、ハイキング用の帽子とストックを利用することにした。

金剛杖は卒塔婆を現しているという。死装束といわれる白装束の人達も多数いる。

宿に泊まる夜、汚れた物は洗濯し乾燥機で乾かせば翌朝また着用できる。携行品を少なくする。

菅笠には「同行二人」更に、迷故三界城 悟故十万空 本来無東西 何処有南北 と書かれている。

たとえ一人で歩いている、いつでもお大師さんが付いてくださるとのことなのである。

般若心経、毎日幾度も唱えるのでいつしか暗唱できるようになる。朝昼晩と食事の前に唱える。札所では山門で一礼し、本堂と大師堂で唱えるので一日で計20回位唱和することになる。最初は経文本を見て唱和するが、次第に皆と暗唱できるようになっていく。納経帳も一人ひとりが、御朱印を戴くには時間がかかるので、マイカーで先行しているようである。納経料は1カ所毎で300円を納める。

お遍路には死の影がまとっている。しかし、新鮮な空気を胸いっぱい吸って巡礼を続けている内に世の中の細かいことが気にならなくなる。歩いて巡礼するということがいかに健康に良いか身を以て判る気がする。

全ての札所を記載するのは、余白が不足するので思い出に残っている札所を幾つか述べて見ることにする。お遍路専用バスを利用するかと、決して楽ではない。門前迄車道がない札所もある。阿波10番札所切幡寺は、333段の石段の登行がきつい。

お遍路で嬉しいのは、御接待と呼ばれる土地地域の人達から受けるご奉仕である。特に、お茶菓子の接待である。地域によっては、2食付で宿泊させてくれる所もあるという。

札所は近い所では、隣り合わせで徒歩5分という所もある。最長距離は、阿波23番薬王寺から土佐室戸岬突端にある土佐24番札所室戸山最御崎寺の約80キロで徒歩3日間の行程である。左に広大な太平洋を望みながら、徒歩で行く幾組かの人達をバスで追い越す。歩きお遍路では最大の難行苦行といわれ、白亜の室戸岬灯台横から眩い太平洋の眺望を楽しむ。

高知市内のホテルへ泊まる。正面には高知城を望む最高のロケーションであった。近くの有名な朝市を歩く。

土佐37番札所岩本寺本堂の天井絵にはビックリ、バラ、蝶、ネコ、孔雀、トラ、ヨット、仏陀、口を開けたマリリンモンローもいる。笑ってしまう、計500枚は張ってあるといわれる。

岩本寺から100キロ、足摺崎の土佐38番金剛福寺、海は岩礁が沖まで続き、危うい高い台地に白亜の灯台は立っていた。風の強い所である。土佐から伊予の札所遍路道は間隔が長くて40.60.70キロと続く、歩き遍路には足の負担が大きいところである。

松山市内の伊予51番石手寺、ホテルから近かったので有名な道後温泉本館へゆっくりと入浴に出かける。駅前には名物の坊ちゃん列車が停車していた。

伊予55番別宮山南光坊、今治「いまばり」市は我が国最大のタオル生産地で、汗拭きにと購入する。

伊予60番横峯寺、四国最高峰の石鎚山1982メートルの中腹にあり札所中では最難所である。

讃岐75番五岳山善通寺、弘法大師空海の誕生の地である。広い境内には楠の大木が生い茂りお遍路中最も重要な寺院である。戦前は、陸軍師団が置かれ数万の軍人達が配置されていたという。

最終結願打留の讃岐88番大窪寺、境内には大勢の白衣のお遍路で賑わっていた。みなお遍路を歩き終えたという幸せな面立ちをしている。納経帳も満願であるが私達は、結願の証である褒賞状を戴くことにする。

## 小網代を詩う

こんなに想っても

中井 由実

とても明るい日だから

同じように小網代に行きたい人達がいる

「こんにちは」と

挨拶を交わしたその笑顔を見て

私は勘違いをしていたことが分かった

小網代、大好き だから小網代は私の物

こんなに想っているのだから

そんな気持ちの奥にあったのだ

小網代はいつだって小網代自身

そして皆のもの

これからずっと

こんなに想っても、どんなに想っても



実り多き年に

中井由実

今年あまり人間は来なかっただろう  
だから

森は気ままに季節を愉しむことができたのだろう

紫、白、濃紺、深紅

それぞれに艶めく実の多いこと

ジュズ玉だけが丸々太ってまだ緑色

きつね色のキノコの群れも並んでいる



秋の頂点へ

中井由実

一年で一番晴れるという日  
久しぶりに森に行った

木々はまだ青々としているけれど  
勢いをひそめてきたようだ

谷の中からも空が良く見える

雲はない

夏を思わせる日差しの中

木道は すすきの原っぱに

まだ閉じて銀糸の束を光らせるそよぎが広がっている

確かに秋は来ていて

小網代は秋の頂点へと向かっている

## 随想 代網小サロン

随想 小網代てんてん ④7

鑑摺城と三浦氏

須田漢一

三浦半島は、東西と南に海を配し、北には一〇〇メートルから二〇〇メートル前後の、低いとはいえ急峻な丘陵が連なっている。

かつて、この地を領土にした三浦氏は、鎌倉幕府の金沢北条氏や、後の小田原北条氏にとつて、目の上のたんこぶ的な存在だった。独立、不羈ふきの強い三浦氏は、あえて敵対はしないが、本心からの服従もしなかった。自らの領土は自らが守ると、半島の各地に自然の地形を生かした防禦構築物や城郭を造り、そこに一族を配した。

三浦半島の付け根となる、逗子市と葉山町の境に位置する鑑摺城あふすりじょうもその一つである。

JR逗子駅または京急逗子・葉山駅から南西へ、田越川たしえがわ沿いに下つていくと、高さ二〇メートルほどの、独立した丘がある。

「史跡旗立山はたたてやま（鑑摺城址あふすりじょうし）の案内板の脇から急

斜面に付けられた鉄製の階段を、マルバグミや、ハチジョウススキを見ながら、ジグザグに上つて山頂に出る。

二〇〇坪ほどあろうか、ほぼ平坦な草地である。北の眼下に鑑摺港が、西には相模湾、江の島の向こうに箱根・伊豆の山並、その後方には富士山と、眺めはよいが、さて、ここが城？、と思う。なるほど、周囲は垂直に近い泥岩（逗子層）の崖が、守るには絶好の地だ。しかし生活するとなると、水・食糧・燃料・武器などの補給に難がある。

南に目を移す。県道二〇七号線を挟んで浅間山せんげんやまが長い稜線をのびしている。その山麓の長柄・堀内地区の河岸段丘ながえ ほりうち かがんだんきゅう十五ヶ所で古墳時代から奈良時代にかけての遺跡が発掘された。出土品は主に土師器類だ。中世、武士階級が活動する以前から、この土地には人の生活が連続と続いていたのだ。

本州のほぼ中央に位置し、太平洋に突き出した三浦半島の、逗子から横須賀市の田浦を結ぶところは、相模湾側から東京湾側に向かう最短距離にあたるルートだ。軍事・交通・交易上の大

切な場所だったのである。また伝説上の人物・ヤマトタケルが東北へ向かった古東海道の経路でもあった。

そのことから推し量ると館程度のものが、浅間山の麓に築かれていたのだろう。鑑摺城は山城じょうであり、物見の役割を担った所だと考えられる。

鑑摺城は日本史や合戦史の中で、名をとどめた所ではない。しかし戦国時代、三浦半島を営営と耕してきた三浦氏にとつて、侵略者から領民を守る重要な城であったことは間違いない。

鎌倉の由比ガ浜や逗子湾からこの丘を眺めると、小さいながら、それとわかる存在感を覚え、歴史が持つている重みを感じる。近代的な建築物の中に小島のような丘が、唯一残されているせいでもあるが。

現在、この鑑摺城址からは何の遺構も出土していない。それが却つて、城が本当にあったのなら、どのような働きをしたのだろうか、などと思いをめぐらせる楽しみを与えてくれる。

2012年

## 小網代の森NEWS

### ●●● スタッフの活動 ●●●

- 2021.09.27 (月) 通信 No.28 印刷 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)  
 2021.10.03 (日) スタッフ会議 (リモート)  
 2021.10.17 (日) スタッフ会議 (リモート)  
 2021.10.24 (日) 第 27 回交流会「リモートでカレンダー作り」  
 同日夜 スタッフ会議 (リモート)  
 2021.11.01 (月) スタッフ会議 (リモート)

### ●●● 第 29 回交流会予告「鳥いっぱい谷と海 2022!!」 ●●●

恒例の鳥見交流会、2022 年も開催します。

開催日：2022 年 2 月 6 日 (日) \*荒天の場合は中止します

集合時刻、コースなど詳細は後日ハガキでお知らせします。

### ●●● ご寄付ありがとうございます ●●●

三ツ井ヒデ子様 望月光子様 関本睦子様 土屋圭子様 江川公明様 丸武志様  
 以上の皆さまからご寄付をいただきました 大切に使用させていただきます。

### ●●● こあじろの森くらぶオリジナルカレンダー2023 の画像を募集します ●●●

こあじろの森くらぶオリジナルカレンダーの 2023 年版をみんなで作りたいと思います。カレンダーに載せる写真を募集します。ご自身で撮影された写真、ご家族、ご友人が撮影された写真をご提供ください。

#### 募集要項

- 1) 2021 年 11 月から 2022 年 10 月までに小網代の森で撮影した写真。(季節感のある写真が採用されやすいです)
  - 2) 他に発表されていない作品をお願いします
  - 3) 横長の写真で 500KB 以上のデジタルデータ (可能であれば JPG) でご応募ください。
  - 4) 応募される方のご住所、お名前 (カレンダー掲載時にはニックネームも可)  
 応募される方と撮影された方が異なる場合は、撮影者のご住所、お名前 (カレンダー掲載時にはニックネームも可)
  - 5) 撮影された年月日が必須です
  - 6) 1 メールにつき写真 1 枚でご応募ください
  - 7) 応募受付期間：2022 年 7 月から 2022 年 10 月まで
  - 8) 応募方法：こあじろの森くらぶ HP の会員専用ページに作成される「カレンダー写真募集コーナー」(他のメールアドレス宛に応募されても、選考対象とはなりませんのでご注意ください)
  - 9) 選考：2022 年 10 月末頃リモートで選考会
  - 10) 発表：2022 年 11 月発行のこあじろの森くらぶ通信に掲載
  - 11) 応募された方には参加賞として、2023 年版カレンダー (1 部/人) をプレゼント
- 応募受付期間開始が近づきましたら、募集要項を再度お知らせします

## ●●● 第 28 回交流会「紅葉の森歩きと、光照寺ご住職のお話を聴く会」●●●

交流会の第 1 部は、秋深い小網代の森を散策します。ボードウォークの足下に、今年落ちたドングリを発見できるかしら。美しく色づいた落ち葉を拾えるでしょうか。久しぶりに交流会らしい交流会ができそうですね。あとは良いお天気になることを祈るばかりです。

エノキテラスでお弁当を食べたら、交流会第 2 部は、三戸の光照寺へ向かいます。

光照寺は、小網代の歴史を知る上で欠かせない三戸の御用邸建設計画に深い関わりを持つ、由緒あるお寺です。お寺を拝見しながら聴くご住職のお話しは、100 年前、いえいえ鎌倉時代までワープしていきます。琵琶の生演奏に心洗われる体験もどうぞお楽しみに！ 第 2 部からのご参加も可能です。

開催日：2021 年 12 月 4 (土)

### 第 1 部 紅葉の森歩き

集 合：10:00 三崎口駅前集合 \*荒天中止

持ち物：お弁当、飲み物、(念のため雨具)

### 第 2 部 光照寺ご住職のお話を聴く会

時 間：14:00~15:30

集 合：13:30 三崎口駅前集合 \*雨天決行

受付後、スタッフの車で三戸の光照寺へ移動します (7~8 分)

お 話：光照寺ご住職 三浦正英さん

- ・参加資格：こあじろの森くらぶ会員とそのご家族、ご友人
- ・ご連絡先：メール：info@mori-club.com (高橋) 電話：046-889-0067 (仲澤)
- ・ワクチン接種の有無にかかわらず、マスク、密の回避などコロナウイルス対策をお願いします

## ●●● 今年もあります 縁の会！ ●●●

第 28 回交流会の後ご希望の方は、恒例の縁の会へ縁の会のみご参加の方は伊豆島三浦海岸店 17:00 集合。(三浦海岸駅から剣崎行または三崎港行のバスがあります)

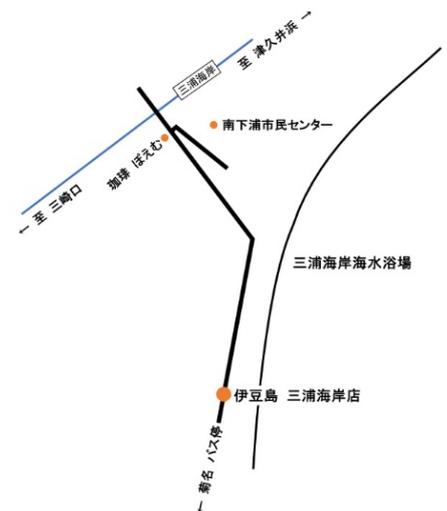
会場は昨年同様、伊豆島 三浦海岸店で 17 時から、会費 5,000 円 (税込み、飲み物別)。

ソーシャルディスタンスを保って会食の予定です。

お申込みは 11 月 23 日までに、下記連絡先へお願いいたします。

ご連絡先：メール：info@mori-club.com (高橋)

電 話：046-889-0067 (仲澤)



小網代の森へのお出かけは、神奈川県ホームページを確認してから、が安心です。  
神奈川県ホームページ URL <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/d2t/kankyo/p820028.html>

## こあじろの森くらぶ通信 No.29

2021 年 11 月 14 日発行

こあじろの森くらぶ Koajiro Woods Club

所在地：〒238-0101 三浦市南下浦町上宮田 1528-75

連絡先：info@mori-club.com (高橋)

046-889-0067 (仲澤)

U R L : <http://www.mori-club.com>